

指定校番号	28082	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立亀山中学校	校長	松田 裕二	生徒指導主事	今橋 正智
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『体育祭』

取組のねらい『キーワード 生徒指導の3機能をいかした行事』

体育祭を通じて、生徒一人一人が自己存在感、共感的人間関係、自己決定を育めるようにする。また、規範意識や倫理観、他人への思いやりなど、集団や社会の一員としての自覚や豊かな人間性を育む。

取組の具体的内容『キーワード 責任を持ち、自己存在感を育む』

- ・初めての集団行進演技
- ・生徒会執行部、実行委員、応援団からの服装指導
- ・生徒会執行部を中心としたオープニングダンスの取り組み
- ・実行委員を中心とし、生徒が立案したブロック練習
- ・応援団を中心とした応援練習
- ・生徒が主体となった当日の運営
- ・全員で責任を持って行う当日の後片づけ



【写真】生徒による応援演舞

取組の課題・創意工夫『キーワード 教職員も一丸となって』

昨年度まで一部の教員に負担がかかっていた部分があったが、教職員で役割分担ができた。当日教職員が登場しなくても、生徒が主体となって行えるように、そこまでのサポートを各教職員で行った。また、当日は朝6時にはボランティアでほとんどの教員が学校に来ている状態であり、このことから教員が一丸となったことがうかがわれる。

課題として、不登校生徒など、全校生徒が参加できていないので、どのような形でもよいので、行事全員参加を目指したい。

取組の成果（効果）『キーワード リーダーの育成 共感的人間関係の育成』

- ・全力で取り組むこと、妥協しないで取り組むこと、協力して取り組むこと。一つのことをみんなで取り組むことの大切さやすばらしさを生徒が体験することができた。
- ・自分の役割に責任を持ってやり切ることの大切さ、大変さを学ぶことができた。
- ・リーダーとしてまとめていくことの大変さ、またその経験を通して成長することができた。
- ・感想文や、学級通信、学年通信、学校便り、ホームページでフィードバックし、自己肯定感を高めた。



【写真】

生徒会執行部がリーダーシップをとり、最後に全校生徒が円陣を組んだ場面。初めてのことであり、また、教員主導ではありません。

今後の展開『キーワード 日常生活にいかす』

- ・その後文化祭、PTC、教育研修旅行、生徒会執行部といった行事が続くが、行事で学んだことを日常にいかしていけるように学校朝会や学年集会、学級で生徒に伝えていく。
- ・文化祭では体育祭よりも全員参加に近づけることができた。

他校へのアドバイス『キーワード 教員は当日までの手助け』

- ・当日はなるべく教員が登場せずに、生徒が主体的にいきいきと活動できるように、そこまでの手助けを教員が役割分担のもとしっかりとする。